

# 国際ロータリー第 2550 地区 黒磯ロータリークラブ会報

国際ロータリー会長：マーク・ダニエル・マローニー  
 第 2550 地区ガバナー：川嶋幸雄  
 事務所：〒325-0826 宇都宮市西原町 142  
 宇都宮グランドホテル内  
 TEL: 028-651-2550  
 FAX: 028-651-2551  
 E-mail: [m2550@agate.plala.or.jp](mailto:m2550@agate.plala.or.jp)



会長：吉光寺政雄 幹事：藤崎善隆  
 事務局：宗教法人 日蓮宗 等覚院  
 代表役員住職 藤崎善隆  
 〒325-0045 那須塩原市高砂町5-41  
 TEL: 0287-62-0187 FAX: 0287-62-3947  
 E-mail: [jusyoku@tougakuin.or.jp](mailto:jusyoku@tougakuin.or.jp)  
 例会：国民の祝日を含まない週の水曜日  
 12:30 - 13:30  
 割烹石山 那須塩原市本町 5-5

第2887回 吉光寺年度 第34回 会報 2020 6-10 司会 片田航介君

## 🌟 会長挨拶 吉光寺政雄会長



皆様こんにちは。暑い日が続いておりますが、いかがお過ごしでしょうか。皆様、ご家族、社員の皆様体調管理にご留意頂きまして、ご自愛下さいませようお願い申し上げます。

さて、最近のコロナ関連のニュースを拝見しますと、東京では元の生活に戻りつつあるわけですが、一方で毎日20人程度の感染者が確認されています。

銀座、渋谷、新宿、横浜、大宮の各駅前には例年と比べて人出が10-20%減と、例年よりはやや少ないものの、かなりの人数が動いているようです。

コロナに感染した人は、夜の飲食店、とくに水商売と言われる接客を含んだ飲食店での感染が取りざたされています。

ネットの意見のなかに、「水商売は所詮水商売。全部自己責任では」という意見を観ました。この点、私は水商売というものを否定というか、卑下しません。職業に貴賤無という言葉もございます。どのような職業も、必要とするお客様がいて、働く従業員さんがいて、その家族がいて、店舗の大家さんがいて、仕入れの業者さんがいます。一つのお店が、多くの人に支えられ、また多くの人を潤わしている

わけです。どのような職業でも、誇りを持って働き、お客様に喜んで頂いて、従業員さん、お取引先などに良い循環を起こすことが大切だと思うわけです。

私は大学を卒業したあと、都内の金融機関に勤務しました。その頃の私は、実家の葬儀社を、他人の不幸を商売の種とするこの葬儀業に嫌な感情を抱いていて、母親とよく言いあいを致しました。若い私に、当時社長だった母が、「葬儀の場ではいい年をした大の男が涙を流す。真剣な場で、終わった後にありがとう、と言って頂ける素晴らしい仕事だよ」と言われました。金融機関に勤めていた私は、お客様からも上司からも、できて当たり前、やって当たり前という雰囲気の中で、この「ありがとうと言って頂ける葬儀業」というものに関心を持つようになりました。

今後も皆様のご指導を頂きながら、職業人として、企業人として、これからも精進して参りたいと思います。

人生の先輩、経営の先輩の皆様の前で拙い話、恐縮でございました。

本日は大島次年度会長のクラブフォーラムでございますので、この辺りで。

本日も宜しくお願い致します。

## 🌟 幹事報告 植竹一裕副幹事



出席報告 出席委員会 秋葉秀樹君

(出席規定の免除会員数7名)

例会日	会員数	出席数	欠席数	出席率	MU数	修正出席率
本日 6月10日	37 (7)	32 (5)	5 (2)	91.4%		
前回 6月 3日	37 (7)	35 (6)	2 (1)	97.2%	1	100%

欠席の場合は前日 9 時 30 分までに次のいずれかにご連絡を。電話 62-0128、FAX62-1076 (以上石山桂子)  
 メール [gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp](mailto:gqvn2bz9k@sound.ocn.ne.jp)

(第16回理事役員会報告)

1. 那須塩原市国際交流協会寄付金について  
10,000円寄付(例年通り)手配済み。  
→承認
2. 現状状況下にて出席に不安を感じる会員の欠席の取扱いについて  
今年度中「出席免除」の取扱いとすることを承認  
(既に申し出のあった瀧田雅仁会員も出席免除とする)
3. 大森貞男会員退会届について  
→受理
4. 休会中の未執行予算の取扱いについて  
医師会等への寄付について  
本年度支出せず、次年度へ繰り越すことを承認
5. その他  
会長より定款細則委員会を開催し、クラブ例会・理事役員会をオンラインで開催できる旨、クラブ細則に規定し、理事役員会に諮ることを報告

(第25回幹事報告)

1. 大田原ロータリークラブより、事務所並びに例会場の変更についてご連絡がありました。新年度より、これまでの大田原温泉ホテル龍城苑からホテル花月への変更とのことでした。

 **委員会報告 荒牧明二副会長**



皆様こんにちは、委員会報告を受け付けますので、報告のある委員会は報告願います。

● **植竹一裕 次期副会長**



5月27日28日にメールで、ガバナー方針・ガバナー補佐挨拶文・会長方針・クラブ奉仕計画書をクラブ奉仕委員長の皆さんに配信させていただきました。次年度計画書の作成をお願いいたします。提出期限は、6月20日となっております。よろしくお願いいたします。

 **ニコニコボックス 平山博君**




平山博君 新型コロナ、一日も早い終息を願って

佐藤博君 ”

井出法君 ”

瀬尾紀夫君 祝、鮎解禁

檜山達郎君 誕生祝いありがとうございます。  
満86歳になりました

 **卓話 次年度 会長・幹事  
クラブフォーラム**

● **秋葉秀樹 次年度幹事**



次年度幹事を仰せつかりました秋葉秀樹でございます。

本年は次年度幹事研修会は中止となり、地区よりビデオ研修が送付されて勉強中です。

次年度の幹事に大きな課題が2つ出されております。

1つはマイロータリーのクラブ会員100%登録です。まだ、登録をされていない方は、2550地区ホームページの資料室内にある登録方法の動画を参

考にしていただけると幸いです。また、会員IDは当クラブの現況報告書に記入されておりますの参考に登録願います。わからない方は遠慮なく私までお申し付けください。

もう1つは、クラブセントラルの登録です。私自身も今まで存在を知りませんでした。こちらは勉強中で詳細は機会があれば後日お話しさせていただきます。

簡単でしたが、次年度幹事を務めさせていただきますので、よろしく願いいたします。

## ● 大島三千三 次期会長



本日の例会にあたりまして、この様ないで立ちで申し訳ございません。

先日、自分自身の不注意にて怪我をしました。いつ何時何が起きるかわかりません、皆様も十分にお気をつけ下さい。

改めまして、私の自己紹介をさせていただきます。私の家の大島家の原点は、大正時代にさかのぼります。祖父(一・はじめ)が隣町から婿入りして、祖母(キワ)と今の場所、笹沼に住むようになりました。農地も無く竹を材料に道具を作り、それを売って生計を立てていたそうです。竹カゴや熊手、竹ぼうきなどです。父(三一・さんいち)は、9人兄弟の長男で家を継ぎましたが、父が19歳の時に祖父は49歳で他界致しました。生計を立てるために、あちらこちらに土方作業に行っていました。祖母は、近所の農家の農作業手伝いに毎日汗を流していたそうです。それから、父も竹工業を目指し仕事を始めました。昔の市場で使われていた野菜カゴを作製し売っていました。

しかし、東京オリンピックも終えた昭和44年、野菜カゴはダンボールに押され世の中から消えていきました。その年の春、胃がんで入退院を繰り返していた祖母も他界致しました。そして、その年の9月に父は竹工業を辞め、古物商を始めました。その時の手持ちの持ち金は4,000円しかなかったそうです。古物問屋さんに仕事を教えてもらい、各家庭を訪問して買い出しを始めました。父、42歳、私が10歳の時です。

高校を卒業した私は、家業古物商の手伝いに入りました。学生の頃は、「ぼろくそ屋」と呼ばれてい

た職業ではありましたが、私には、大事な自慢の家業でした。

私は、25歳の時結婚し3人の子供に恵まれました。30歳を過ぎて業界組合の付き合いや、青年会議所に入会し世間社会との活動を始めました。そして、そこから「スクラップ回収業も社会には無くてはならない静脈産業だ」と教わり学び、大事にしてきました。今、ここに私がいられるのも、諸先輩方との付き合いを大切に思う自分がいるからだと思っております。

現在は、古物スクラップ回収業、一般廃棄物収集運搬業、産業廃棄物収集運搬業、一般貨物運送業、家屋解体工事業などなんでもお引き受け致しますので、皆様宜しく願い致します。

さて、ここからは、仕事の話をして頂きたいと思っております。皆さんご承知の通り、鉄鋼材には高炉で作られる物と、我々が鉄屑として収集した物を電気炉で作る鉄鋼材があります。高炉で生産される鉄鋼材は純度が高く、主として薄鋼板に使われます。薄鋼板の技術が戦後の自動車産業を支えてきたそうです。

アメリカの自動車産業はこの頃、車体の軽量化をあまり重視しなかったようです。しかし、日本には、石油がありません。いかに、燃費の良い軽量な車体を作るかが日本の鉄鋼技術を磨かせたということです。

我々が収集している鉄屑は、電気炉で溶かされ、いわば肉厚の建設鋼材へと主に変化していきます。その鋼材の需給バランスで日々のスクラップ相場が変わります。新型コロナの影響で、中国の経済がストップし世界中の自動車産業及び製造業が停滞しています。国内の建設鋼材も動きがなくその影響で鉄屑の相場が下がりました。

しかし、逆にここに来て経済が動かないために鉄屑の発生も少なく、原料の鉄屑が集まらないことがこの2週間で鉄屑の相場がトン2,000円の値戻しをしている現状であります。

この地域の鉄屑発生量は、ご承知の通り落ちています。必然的に仕事量が少ないということになります。一般廃棄物収集運搬の仕事で言いますと、緊急事態宣言により取引先各飲食店の営業自粛に伴いゴミが出ません。直接仕事に影響が出ているのが現状であります。未だ収束の見えない新型コロナ感染症の影響は、世界経済に不況をもたらし、日本国内やこの地域にも大きな影響が有ることは間違えありません。

しかしながら、厳しい時代でも、“新しい明日は必ず来る”と信じております。会員の皆様のご指導ご鞭撻を頂きながら1年間精一杯活動して参ります。何卒よろしく願い申し上げます。

## ◆ クラブ会長の方針と計画

この度、黒磯ロータリークラブ第61代会長に就任することになりました。黒磯クラブ60年の歴史を鑑

みながら、若輩者ではございますが、会員の皆様のご指導、ご鞭撻を頂きながら努めて参りたいと思っております。よろしくお願い申し上げます。

2020-2021年 RI会長ホルガー・クナーク氏は、「ロータリーは機会の扉を開く」をテーマに掲げました。いかに現会員を維持し、クラブにふさわしい新会員を募れるか。そして、立ちほだかる課題に立ち向かうため、いかに組織を強くできるか、「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない」と説いています。

また、第2550地区 森本ガバナーは、「魅力ある元気なクラブにしましょう」を目標に掲げました。具体的には、1.クラブ強化(戦略会議の開催・女性会員の加入促進等)2.デジタル化の推進 3.人材育成(青少年奉仕活動支援等)です。第1グループと共に第2550地区事業にも協力して参ります。

これらを踏まえて黒磯クラブとしては、新型コロナウイルス感染症発生の渦に巻き込まれながらも、世界経済・日本経済はもとより地域経済が疲弊するなか、まずクラブ活動の安定化を考えながら、魅力あるクラブ活動を目指して地域社会に貢献して参ります。

#### 【本年度計画】

1. 魅力ある例会の充実
2. 魅力ある会員増強
3. 魅力あるIMの開催
4. 魅力ある60周年記念式典
5. ロータリー財団支援:US180\$ /1人(財団\$150+ポリオ・プラス\$30)
6. 米山記念奨学会支援:19,000円/1人
7. 各委員会継続事業の実施

#### ◆ IMの開催及び60周年記念式典について

60周年記念式典、および当クラブが秋間ガバナー補佐を輩出しているとのことでインターシティミーティングを開催することになっております。

60周年記念事業については、歴代会長であります田中徹様に実行委員長をお願いしております。これから実行委員会を、どのように立ち上げるか、ご意見いただければと思います。IMについては、実行委員長を時庭稔様をお願いしております。地区ガバナーの方針が未だはっきりしていない部分がありますが、実行委員会を秋間ガバナー補佐を中心に、どのように立ち上げるか、ご意見いただければと思います。

また開催時期ですが、提案として60周年記念式典について来年4月に開催出来れば思っており、IMの開催時期は、第1グループ例年通り2月の第2日曜日に開催出来れば思っております。

しかし今回コロナの終息が見えない状況、どのようにすればよいか、アドバイス頂ければと思います。

#### ● ガバナーメッセージ及び地区目標

「ロータリーは機会の扉を開く」

～ Rotary Opens Opportunities ～

国際ロータリー 第2550地区

2020-21年度ガバナー

森本 敬三(大田原中央RC)

2020年1月20日、米国サンディエゴでRI国際協議会が開催されました。同協議会にてマーク・ダニエル・マローニ会長が、次期RI会長ホルガー・クナーク氏(以下、「クナーク会長エレクト」と呼びます。)を紹介し、クナーク会長エレクトが次年度のテーマ講演をしました。その講演の中でクナーク会長エレクトは、会員増強を取り上げ、数字を掲げての成長を求めずに現会員を維持しクラブにふさわしい新会員を募れるか「太陽が出ているうちに屋根を修理しなければならない」と強調されました。そして最後に、次年度のテーマは「ロータリーは機会の扉を開く」であると発表されました。

さて、1905年にポール・ハリスによって創設されたロータリーですが、その種は、15年後の1920年10月、日本に蒔かれました。先人ロータリアンのためめぬ努力によって、幾多の困難な時期を経て、その種は大きな樹となって今日に至っています。21世紀になった今でも世界の中では、紛争の絶えない地域や、格差拡大による貧困地域、環境の変化によって災害を受ける地域等があります。また、デジタル化の進展による社会構造の変化等に伴い、ロータリーを囲む世界は大きなうねりとなって変化しています。そのような中にあってもロータリーは立ち止まることなく機会をとらえて進化し、より強く、よりしたたかに、適応力を高め、中核的価値観に沿うロータリーへと変化しなければなりません。

そのためには、若い世代の声を聞き、彼らが何を観ているのか、既存クラブの魅力をもどのように発信していくのか等を検討し、新しいアプローチに心を開く事も必要ではないでしょうか。今の若者は、奉仕を楽しみ、活動的でありたいと望んでいるかもしれません。今後、ローターアクトはロータリーの一部となり年齢制限は廃止され、定款、細則も新しく施行される予定です。

ロータリーでは、今後5年間で、より大きなインパクトをもたらす、参加者の基盤を広げ、参加者の積極的なかわりを促し、適応力を高めていくこととなります。

地区内クラブの皆様と共に、変化を恐れず前に進んでまいりたいと思っております。

何卒、ご協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

#### ◆ 方針と目標

～ 魅力ある元気なクラブにしましょう ～

日本にロータリークラブが誕生して100年経ちました。今日の世界は1905年当時とは同じではありません。100年という時間変化のスピードは加速し進

化しています。新たなデジタルテクノロジーによる人々のつながりや奉仕の新たな機会が生み出されています。

「私たちは世界で、地域社会でそして自分自身の中で、持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指します。」

このビジョン声明と共に、魅力ある元気なクラブがある地区として以下に取組んでまいります。

#### <クラブ強化>

1. 少なくとも年に一度は、直前会長、現会長、次年度会長との戦略的優先事項に基づいてのクラブ戦略立案会議の開催。

① 各クラブが、5年後にどのようなクラブになりたいか

② クラブが会員にもたらす価値がどのようなものかを認識する

2. 会員増強と退会防止の推進。特に女性会員の加入促進。

3. 従来のにとらわれない新クラブ設立への挑戦

#### <デジタル化>

4. My rotaryへの登録

5. クラブセントラルへの登録

RIロータリー賞への挑戦

#### <人材育成>

若い人とのつながりを生かし、環境問題などのアイデアを共有してください。きっと従来のにとらわれない新しい機会が生まれます。

6. RLIへの参加促進

7. RYLAへの参加促進

8. 青少年奉仕活動への積極的参加支援

9. ローターアクト、インターアクトへの支援育成

#### <支援>

10. ローター財団への寄付推進

年次基金1人 150ドル

ポリオ・プラス1人 30ドル

11. 米山記念奨学会への支援 1人 19,000円

米山記念奨学会の理念を忘れる事無く、多様な価値観を持つ若い学生に寄り添い、国際親善の若い芽を育てましょう。そこから新たな機会が生まれます。

## ● 秋間忍次期ガバナー補佐 挨拶



森本敬三ガバナー年度の第1グループガバナー補佐を務めさせていただくことになりました黒磯ロータリークラブの秋間忍です。

森本ガバナーを輩出した第1グループの補佐としてできる限りの努力をする所存でございますので皆様のご支援をよろしくお願い申し上げます。

ご存知の通り、新型コロナウイルスの感染防止のため、例年行われてきたPETS、SETSをはじめロータリーの各種会合が厳しく制限されております。また、残念なことながら第1グループ内では那須ロータリークラブ、塩原ロータリークラブが次々と解散してしまいました。

このような状況にありまして、RIホルガー・クナーク会長エレクトが掲げる「ロータリーは機会の扉を開く」、森本ガバナーエレクトが地区の方針と目標に定めた「魅力ある元気なクラブにしましょう」を達成すべく及ばずながら精進して参りたいと考えます。

当面課題は新型コロナウイルスによって遮断される傾向にある大切なコミュニケーションを回復することです。もちろん、例会の再開を模索することも大切ですが、今を生きるロータリーメンバーの知見、心情、苦勞、意欲を伝えあつてあるがままの現況を共有することの大切さを痛感いたしております。相互のコミュニケーションによって課題を共有し、心を一つにして目標に立ち向かうことこそが「ロータリーは機会の扉を開く」を実践するための第一歩と信じる次第でございます。

地域社会、世界の危機を乗り越えるためにも皆様のご指導、ご鞭撻、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

6月10 日欠席(敬称略)

荒井昌一・大森貞夫・鈴木久雄・戸野俊介  
小野安正

前回 6月 3日分メイクアップ(敬称略)

瀧田雅仁

次回例会 令和2年6月17日 担当 会長・幹事・副会長 クラブ協議会

#### 近隣クラブ例会日

○火曜日 西那須野/いとう屋

0287-36-0028

○木曜日 大田原中央/勝田屋記念会館

0287-23-4165

#### 近隣クラブ例会日

○木曜日 大田原/ホテル花月

0287-54-1105

○金曜日 黒羽/ホテル花月

0287-54-1105

会報委員会：高木茂・稲垣政一・鳥居輝一・秋葉秀樹